基礎コース（映像・表現系 / 活字系）

コース紹介

Student's Voice

私はファッション誌が好きで、雑誌の編集をやりたいと思っていたので、基礎コースの活字系を選択しました。授業では読売新聞社や中央公論新社の方に来ていただき、新聞や雑誌の作り方、英字新聞のことなどの話をしてもらいました。実際に現場の人から話を聞くことで、今では雑誌の編集だけではなく、新聞にも興味を持つことができました。

高木 友里さん（活字）
経営学部２年

【映像・表現系】

３年生以降、アナウンサー、放送・音楽・映像、広告・マーケティングコースを目指す人が対象。講師はアナウンサーやテレビ局、広告代理店で働いている方が担当している。授業ではフリートークやフィールドワークなどを多く取り入れている。主に発表する形式の授業が多く、自己紹介や、他人紹介などの紹介形式のものや、ＤＪになったつもりで一分間の番組を作る制作形式のものなど、特色のある授業を展開している。このコースでは、目先の就職対策ではなく、幅広い視野と考える力を養うことが目的である。他コースとの合同授業も多く行っている。

映像・表現コースでは、自己表現に重点を置く授業が多く、ラジオのＤＪオープニング実習やフリートークなど、今まであまり経験した事のないことが経験できました。コースの雰囲気は大変よく、学年に関係なく多くの友人ができ、ほぼ毎週、授業後には飲み会を開き、交友を深めています。七月には、活字系との合同授業で、新宿に寄席を見に行きました。

波越 純さん（映像）
法学部１年

【活字系】

３年生以降、新聞・報道記者コースや出版・エディターコースを目指す人が対象。講師は主に読売新聞社、中央公論新社の方が務める。講座内で唯一、読売新聞社及び読売グループとタイアップしており、第一線で活躍する記者や編集者の話を聞くことができる。主な授業内容は、新聞社や出版社の仕事内容や業界の現状などについての講義である。実際に現場で働いている人の声を聞き、基本的な知識を身につけることが目的である。春季には、読売新聞社の見学も行った。自主講座のひとつとして今回のパンフレットの制作を担当している。